

(社) 日本原子力学会  
第73回倫理委員会議事要旨

日 時 平成25年9月13日(金) 13:30~17:15  
場 所 三菱重工業 品川本社ビル会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、北村委員、小林委員、  
関村委員、辻委員、中野委員、名倉委員、林委員  
山本理事 (12名: 委員名簿順)

配布資料

- 資料73-1 第72回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料73-2 倫理委員会活動の役割分担(実績・予定)
- 資料73-3(1) 「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会」最終報告書(ドラフト) 説明会説明資料
- 資料73-3(2) 最終報告書 目次と執筆分担(案)
- 資料73-4(1) 倫理規程前文(案)
- 資料73-4(2) 倫理綱領
- 資料73-5(1) 「2013年秋の大会」倫理委員会企画セッション報告投稿案
- 資料73-5(2) 「2013年秋の大会」倫理委員会企画セッション講演資料
- 資料73-6 倫理協議会WECC2015主要テーマⅢ検討状況報告
- 資料73-7(1) 福島原発事故に関する倫理委員会の意見表明について
- 資料73-7(2) 技術者倫理の最前線2012年連続セミナー
- 資料73-7(3) 技術者倫理と安全文化
- 資料73-8 2013年秋の年会倫理関連発表資料

議事

1. 資料73-1により、前回議事要旨(案)を確認し、了承された。
2. 資料73-2により、2014年春の年会企画セッションの進め方について、作田幹事から説明があった。テーマは、他部会・委員会との連携による倫理委員会への期待や、倫理規程の見直しに関するものとし、場合によっては理事会セッションとの連携についても検討することとした。担当は、辻委員と中野委員とし、提案書を10月24日までに事務局に提出する必要があることから、9月末までに辻委員と中野委員にメールで意見を送付することとした。

また、研究会については、内山委員と名倉委員が担当することとした。テーマについては、他産業分野での不祥事事例及び良好事例、米国原子力発電所(デービスベッセ、ミルストーンなど)での安全問題を取り上げてはとの意見があった。対象は、学会員を基本とするが、大学で開催する場合は学生にも声をかけることとした。研究会についての意見を9月末までに内山委員と名倉委員にメールで送付することとした。

3. 資料 73-3(1)(2)により、学会事故調査委員会最終報告書（案）と執筆分担について、宮越副委員長から紹介があった。
4. 資料73-4(1)(2)により、倫理規程前文の改訂案について、大場委員長から説明があった。
5. 資料 73-5(1)(2)により、2013 年秋の大会企画セッション内容、及び学会誌への投稿原稿案について、宮越副委員長から説明があった。投稿原稿案については、9 月末までに宮越副委員長にメールでコメントを送付することとした。
6. 資料 73-6 により、WECC2015 主要テーマⅢ検討状況について、宮越副委員長から説明があった。
7. 資料 73-7(1)により、倫理委員会の意見表明（案）について、宮越副委員長から説明があった。意見表明案については、9 月末までに宮越副委員長にメールで意見を送付することとした。また、資料 73-7(2)(3)により、技術者倫理と安全文化について、宮越副委員長から説明があった。「倫理」が「安全文化」に置き換えられているとのご指摘も踏まえ、技術者倫理と安全文化について、さらに議論を深めていくこととした。この議論が意見表明や倫理規程の見直しの参考になるとの意見があった。また、大場委員長からは議論を発散させるのではなく、そろそろ倫理規程の改訂に向けて収束させていくとともに、当倫理委員会の活性化についても全員が議論していく必要があるとの意見があった。
8. 資料 73-8 により、2013 年秋の大会における倫理関連発表他について、作田幹事から紹介があった。藤井氏からの倫理規程へのコメント、及び渡邊氏からの調査報告へのコメントについては、今後の倫理委員会での検討の参考にすることとした。
9. 次回倫理委員会は、11 月 13 日（水）13:30～（学会事務局）とすることとした。

以上

※

本委員会終了後に、名倉委員の就任が 7 月 30 日の理事会で承認されたことを確認した。